

8

- 2【土】・3【日】 iaku『はぐらかしたり、もてなしたり』●PLAT アートスペース
- 3【日】 AYAMI BALLET STUDIO Studio Performance Allongé 2025●PLAT 主ホール
- 5【火】 プラット親子わくわくプログラム2025『CLUB ORIGAMI(クラブオリガミ)』●PLAT アートスペース
- 10【日】 第26回 ハートの日講演会 豊橋ハートセンター × 時習館高等学校『市民の健幸と学びが、まちの力になる』●PLAT 主ホール
- 10【日】 杏子 miniAL「羽化」リリース公演 であいさつ●PLAT アートスペース
- 11【月】 ドレミ会ピアノ発表会●PLAT アートスペース
- 17【日】 高校生と創る演劇 サマーキャンプ上演会●PLAT アートスペース
- 20【水】 プラットワンコインコンサート 二宮綾音&小田からら「笛で奏でる夏祭り」●PLAT アートスペース
- 27【水】 第23回 小中学生による芸能フェスティバル●PLAT 主ホール

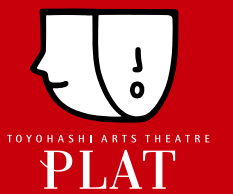
9

- 3【水】 特撰落語会 桂宮治独演会●PLAT 主ホール
- 6【土】・7【日】 加藤敬二 × AMS アマノミュージカルスタジオ ミュージカルコンサート『Jewel Box II』〜輝く未来へ〜●PLAT 主ホール
- 7【日】 アコースティックライブ 2025●PLAT アートスペース
- 14【日】 K☆STAR Dance Studio Show Case vol.8●PLAT 主ホール
- 21【日】 金井ゆかり&野畑さおり 二台ピアノの響演 VOL.3●PLAT アートスペース
- 23【火・祝】 劇団四季ファミリーミュージカル『王子と少年』●PLAT 主ホール

10

- 4【土】・5【日】・6【月】 シス・カンパニー公演『ライブ・イン・ザ・シアター』●PLAT 主ホール
- 11【土】 ビーピング・トム『トリプティック』●PLAT 主ホール
- 24【金】 野村万作・野村萬斎 狂言公演 2025●PLAT 主ホール
- 25【土】 荒井嗣雄 第20回 テノールリサイタル●PLAT アートスペース
- 26【日】 島岡里梨香&水越海翔 デュオリサイタル●PLAT アートスペース
- 31【金】～11/2【日】 『ヴォイツェック』●PLAT 主ホール

PLAT NEWS



表紙／ガブリエラ・カリーソ、フランク・シャルティエ
ビーピング・トム『トリプティック』
Photo:Virginia Rota
企画・発行／公益財団法人豊橋文化振興財団
編集・デザイン／味岡伸太郎＋有限会社STAFF
令和7年7月発行74号[年4回発行]

PLAT NEWS

公益財団法人
豊橋文化振興財団情報誌
2025年8月～10月

vol. 74



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT



プラットニュース

- 1 Interview:1
ビーピング・トム『トリプティック』
「見つからない扉」の向こう側で
何が起きているのか
ガブリエラ・カリーソ、フランク・シャルティエ
- 3 Interview:2
『ヴォイツェック』
基本的には善良な人たちが
追い詰められていくところを描きたい。
小川絵梨子
- 5 Column:1
『CLUB ORIGAMI(クラブオリガミ)』
子どもから大人までが楽しめる折り紙で、
どんなダンス作品ができるだろうか？
松本武士
- 7 Pura pura
バラコの寄り道ぶらぶら
劇場のことを知って、好きになって、
広がっていくサイクルを作りたい。
シライケイタ
シライさんによって、
どう変わるのか楽しみです。
桑原裕子
- 9 Information
PLAT 主催・共催公演情報
Ticket center
- 13 Column:2
高校生と創る演劇
サマーキャンプ上演会
『はじめてから、今まで』
みんなで作ることで
みんなのものになっていく。
柏木 陽
- 14 Sponsor
Support

世界中に熱狂的なファンをもつピーピング・トムが2年半ぶりに再来日、PLATでは2017年『ファーザー』2023年『マザー』に続く3度目の上演です。最高傑作といわれる今作『トリプティック』は、オランダを代表するダンスカンパニー、ネザーランド・ダンス・シアター(NDT)の委嘱作として誕生した「ミッシング・ドア」(2013年)、「ロスト・ルーム」(2015年)、「ヒドゥン・フロア」(2017年)を、ピーピング・トムがオリジナルキャストで再構築した特別な三部作です。

——ピーピング・トム作品の舞台美術は、毎回映画のセットを思わせるような設えです。それでいて、作品自体は、あくまで身体を通して人間の内面を深く掘り下げる場面が強い印象を残します。2024年に日本でも上演されたNDT『ラ・ルータ』も、ダンスという枠組みを超えた演劇的な空間でした。この「三部作」のアイディアは元々どこから来たのでしょうか。——当初は、第二部、第三部を作ろうとは考えていませんでした。しかし、一作目である『ミッシング・ドア』でガブリエラが考案した舞台美術を見たフランクが、このカップルの物語の続きを描くのはどうか、と考えたのです。旅の象徴である船、終わりのない廊下、互い

Interview:

脅威の身体能力と奇想天外なイメージで紡ぐ

ピーピング・トム 『トリプティック』

「ミッシング・ドア」「ロスト・ルーム」「ヒドゥン・フロア」

10月11日[土]14:00開演

構成・演出＝ガブリエラ・カリーソ、フランク・シャルティエ

会場＝PLAT主ホール

に繋がりが合ったいくつかの部屋…『ミッシング・ドア』というこの迷宮には、いくつかの部屋が、そして物語が潜んでいます。この三部作は元々『adrift』(漂流)というタイトルだったのですが、漂流する物語の続きについて語るのとはどうか、と思い至ったのです。

『ミッシング・ドア』でガブリエラが扱っているのは、死の直前の一瞬です。人生の全てを振り返る内省の瞬間です。映画の撮影を思わせる場面をフランクが非常に気に入って、ガブリエラの作品が終わったところから、そのまま続き(第二部)を作り始めました。「ミッシング・ドア」つまり「見つからない扉」というのは、人間の精神と身体の中のあらゆる扉のことです。フランクは、その扉の向こう側で何が起きているのかが知りたいと思ったのです。ですので、登場人物たちを部屋の中に配置してみて、そこから、ここは客船なのではないかというアイデアが浮かびました。移住者たちの道程が交わる場所としての船。どこかを立ち去ることを決めた男女。その物語を描こうと決めました。二人の旅路は、誰もが何かを追い求めている人生という旅の象徴なのです。そのなかで思わぬ事態が起こることもある。その先の第三部では、ついに自然に身を任せることを

受け入れた人間の姿を描いています。自然そのものが二人の旅を導き、終着点へと誘うのです。その末に二人の間に何が起ったのかは、観客の解釈に委ねたいと思いました。錯乱による幻覚なのか?二人の関係が終わりを告げるような出来事が起ったのか?そういう物語を紡ぐためには、三部作という形が最適だと考えたのです。

——2025年の日本ツアーではぜひ『トリプティック』を上演したいという要望が、ピーピング・トムの皆さんからあったと聞いています。

——私たちの作品を見るのは、ホラー映画を観に行くのに似ていて、少し怖い思いをするかもしれません。ピーピング・トムでは、人生というドラマを舞台上に描き出すことを大切にしています。それは強いリアリティを持ったものですし、非常に個人的なレベルで共感可能なものです。だから恐怖を伴うのです。私たちは、登場人物たちがどんな恐怖を抱え、どういう風に思考し、何を夢見るだろうかと、深く考え創作します。こうした要素から出発して、より深く、深く、できる限り深いところまで行くのです。そうすることで、自分たちでも意識していなかったもの、あるいは意識しないようにし

ているものと呼び覚まそうとしているのです。人間の潜在意識というのは、奇妙で恐ろしい場所なのです。

私たちは、昔から日本映画に対して同様の印象を覚えていますが、きっと日本の皆さんに『トリプティック』を楽しんでいただけるのではないかと思います。

——ピーピング・トムは現地のシニアキャストを起用する作品も多いですね。過去、豊橋でも公募して出演していただきました。数時間のリハーサルと本番の2日間でしたが、非常に濃密な時間を過ごし、いまでもランチをしたり連絡を取り合う交流が続けています。

——皆さんが今も連絡を取り合っているとは知りませんでした!素晴らしいことですね。『トリプティック』で募集する現地キャストは『マザー』『ファーザー』より少ないのですが、こうした取り組みが豊橋で長く続く繋がりを生み出していると知って、心が温まる思いです。『マザー』と『ファーザー』は家族についての物語です。現地キャストの間に新たな「家族」を生み出したというのは、とても面白いですね。

——最後に豊橋の観客にメッセージをお願いします。

——日本の皆様に『トリプティック』をお見せるのがとても楽しみです。日本ツアーという物語の一章として、豊橋に伺えることに感謝しています。

ピーピング・トム
ガブリエラ・カリーソとフランク・シャルティエによって2000年に結成。未知なるダンスの創造を目指してカンパニーを「ピーピング・トム＝覗き屋」と命名する。ダンサー、俳優、オペラ歌手ら、国籍も世代も多様なアーティストたちが生み出す脅威のパフォーマンスは、伝説の舞台としてダンス史にその名を刻む。『ヴァンデンブランデン通り32番地』、『ラ・ルータ』にて英国オリヴィエ賞「最優秀ダンス作品賞」を受賞。

ガブリエラ・カリーソ
コルドバの舞踊学校を経て、95年よりLes Ballets C. de la B. のメンバーとして活躍する。NDT『ミッシング・ドア』『ラ・ルータ』、ミュンヘン・レジデンツ劇場『ザ・ランド』演出のほか、ベルギー映画『キッド』に主演。2025年6月、ピーピング・トム最新作『choroniques』を発表。

フランク・シャルティエ
20世紀バレエ団ベジャール・バレエ・ローザンヌを経て、ブレルジョカージュ、ローザス、ニードカンパニーらの作品に出演する一方、Les Ballets C. de la B. に参加。ヨーテボリバレエ(スウェーデン)、マルセイユバレエ(仏)への作品提供のほか、オペラ『デイトとエネアス』、ピーピング・トム『S 62°58' , W 60°39'』、NDT『ロスト・ルーム』『ヒドゥン・フロア』を演出。



『ヴォイツェック』

19世紀ドイツで発表された未完の大作が現代版となって蘇る！

10月31日[金]18:00 開演

11月1日[土]13:00 開演／ 18:00 開演

11月2日[日]13:00 開演

原作＝ゲオルク・ビューヒナー

翻案＝ジャック・ソーン

翻訳＝高田曜子

上演台本・演出＝小川絵梨子

出演＝森田 剛、伊原六花、伊勢佳世、浜田信也／中上サツキ、

須藤瑞己、石井 舜、片岡蒼哉／冨家ノリマサ、栗原英雄

会場＝PLAT 主ホール

基本的には善良な人たちが
追い詰められていくところを描きたい。

小川絵梨子

取材・文 小島祐未子
上演台本・演出

い詰められていくところを描きたいんです。

「壁」が重要な意味を持つ作品ですが、現代における壁をどう捉えていますか。

小川——やっぱり不安と恐怖だと思うんですよ。世界を見渡せるようになったからこそ、倫理観が上がつてきたからこそ、現実とのギャップが不安と恐怖を生む。それらが怒りになっていってしまうのも現代的ですよ。ね。こうあるべきという正しい姿は見えていても、誰もが半分ギャップの海に溺れ、あっぷあっぷしながら生きている気がします。たぶん壁というのは分断するものというだけでなく、自分たちが望む地点にたどり着けなくする障害物でもあり、自分たちを守る鎧でもあるのではないかと感じますね。

主演の森田剛さんについてお聞かせください。

小川——僭越ながら、とても魅力的な俳優で、舞台を非常に愛している方だとも思っています。森田さんは私の中でヴォイツェックと合致する部分が大きかったので、出演していただけることになったのは光栄で幸せ。内なるものが強い印象なので、精神世界を引っ張っていつくださると思います。ヴォイツェックは決して被害者ではなく、最後の最後まで闘って結末を迎える。だから、むしろ強い方でないといけません。最後までなんとかしようとする強さがあるから、物語も最後まで胸打つものとなる。森田さんの想いの強さ…、お腹の力と言うんでしょうか。それを得られるのはありがたいです。

アメリカの政権交代もあって世界情勢が変化し、東西の概念もヴォイツェックがいる時代とは違ってきたように思います。

小川——冷戦の頃はイデオロギーがはっきりしていたからまだ良かったけれど、今はもっと複雑な感情や立場が絡み合って、ちょっと読み解けない不安や恐怖が強くなっていますよね。何を基準に何を目指しているのか、生きている土壌に対する不安と恐怖が物凄い。しかも、それが説明できないから溺れて窒息しそうになる。それは『ヴォイツェック』の登場人物たちともリンクします。そして不安や恐怖、痛みは二次感情の怒りや攻撃性を生む。人と人が共存する上で妨げとなるものがすごく生まれている気がして怖いですね。

『ヴォイツェック』は現在の社会を劇場全体で考えられる好機になりそうですね。

小川——社会への不安や恐怖はあっていいんだと思えるのも演劇のいいところ。ヴォイツェックは一步先に行ってしまうけど、掛け違わなければ何とかなるかもしれないという希望も残せるはずです。恐怖しているうちはまだ正気で、互いにつながれるし、大丈夫だよと言合える。それだけでも全然違う社会が生まれてくるんだろうなと思えますよね。

演出を引き受けるにあたり、どこに惹かれましたか。

小川——『ヴォイツェック』は古典とも言える作品で、実は昔から興味があったんです。一人の人間が追い詰められていく精神世界を描いた劇は当時なかなか斬新だったと思うんですけど、その精神世界に興味があったので、いつの日か触れられたらと思っていました。『ヴォイツェック』は大作ですが、今回それが現代に置き換えられ、良い入り口となっています。私自身、現代物を演出することが多かったので入りやすさもあり、お引き受けしました。

舞台は東西冷戦時代のベルリン、主人公はイギリス人兵という設定に翻案されていますね。

小川——原作では主人公ヴォイツェックがどうして追い詰められたのかあまり書かれていないんですが、ジャック・ソーンはトラウマや戦争、あるいは分断といった時代感や孤独感を通して結末までをとつつきやすく書いています。もっとお金を稼がなきゃいけない、もっと必要な人間にならなきゃいけない、もっと頑張らなきゃいけない…。現代的な道徳や規範の中で何かが掛け違って追い詰められていってしまう様は、元の戯曲よりも私たちにリンクしやすいと思います。1981年はいつ戦争が勃発するかわからなかったという点で現在に通じますし、「世界はこうなったら平和だ」とわかりながら現実はどうどんどん離れていってしまうジレンマにも生々しいものがあります。知らない人が知らない理由で狂ってしまった話にせず、観客も一緒に心の旅をしたり寄り添ったりできるよう描きたいですね。後半になると現実とヴォイツェックの主観が交ざってくるんですよ。そこで大胆に筆を運べれば観客も飛翔してくださると思うので、私にとっても挑戦です。

原作では主人公の情婦が不貞を働きますが、今回の恋人マリーはその部分が曖昧で、ヴォイツェックの独り相撲のようにも映ります。

小川——面白い見方ですね。私は「疑う」ところがすべてのポイントな気がしていて、この疑いに自分が追い詰められていくという…。モヤモヤした気持ちは抑えれば抑えるほど募って、もはや不貞があったかなかったかより疑いのほうが大きくリアルな出来事になってしまう。そういう葛藤や不安は私たちの日常にもあるので丁寧に描きたいと思います。あと、登場人物はみんな善良で嫌なヤツがいないと考えたいんですよ。ヴォイツェックには母親から愛されず必要とされなかったというトラウマがあり、不貞を働いているマギーも夫の圧力が酷くて他の空気を吸う必要があったんだと思います。アンドリューも軍人として意義のある人間なんだと証明しなければ家族の中で生きてこれなかった。それぞれ傷があったり負荷が掛かったりしていますが、基本的には常識的で善良な人たち。彼らが飽和して追

小川絵梨子[おがわ・えりこ]
2004年、ニューヨーク・アクターズスタジオ大学院演出学科卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督。近年の演出作品に『ART』『おやすみ、お母さん』『管理人／THECARETAKER』『ダウト～疑いについての寓話』『検察側の証人』『ほんとうのハウンド警部』『死と乙女』『熱帯樹』『出口なし』『FUN HOME』『死の舞踏／令嬢ジュリー』『RED』など。新国立劇場では『ヒーローマン』『デカローグ』『レオポルトシュタット』『アンチボデス』『キネマの天地』『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首-幻に長崎を想う曲-』『星ノ数ホド』『OPUS／作品』の演出のほか、『東京ローズ』『かもめ』『ウィンズロウ・ボーイ』の翻訳も手掛けた。

Interview:

2

日本で生まれ育った僕にとって折り紙は日常茶飯事。折り紙だけでなく、トイレットペーパーを次に使用する人のために端を折ったり、気持ちよくダンスを整理するために服を折りたたんだり……。折るという行為が日常に散らばっていることに、イギリスへ2005年に移住してから気がつきました。日本ほど折るということに慣れてないイギリス人にとって折り紙がどれだけ浸透しているのか、イギリスの子どもたちは興味を持ってくれるのだろうか、そんな心配をしながら2019年にこの作品の創作が始まりました。

『CLUB ORIGAMI』は子どもたちが折り紙を作るところから始まるダンス作品です。子どもたちが作った折り紙を二人のダンサーが集め、舞台の上に敷かれた紙の上に乗せて展示すると、そこはまるで美術館のように変貌します。その一つ一つの折り紙からインスピレーションを受けたダンサーたちが、折り紙のカタチを身体で真似っこしてみたり、折り紙の気持ちになってそれを踊りにしてみたり、毎回違ったダンスがその場で生まれます。

「キミが作った折り紙からどんなダンスが生まれるでしょうか？」

『CLUB ORIGAMI』はイギリス国内で5歳以下の児童のためにもっとダンス作品を届けようという企画、リトルビッグダンスによってプロデュースされました。演劇の歴史が長いイギリスでも、特に子どものためのダンスの作品の数が少ないことから、イギリスのダンスや児童劇に特化した4つの組織(South East Dance, Dance East, Take Art, Yorkshire Dance)がタッグを組んで4人の振付家を選出し作品づくりの機会を与えました。創作過程において、子どもの創造性に軸に置いた作品づくりをするという方針から、創作初日に幼稚園に伺って、子どもがどんな風に紙で遊ぶのか、どう折り紙に反応するか、一緒に遊びながら観察をしました。僕が幼稚園の部屋の端っこの方で静かに折り紙を折っていると、子どもたちが一人、また一人と集まってきて、興味深く見てきます。紙を子どもたちに渡すと、真似っこをして同じように折る子や、ぐしゃぐしゃに丸

子どもから大人までが
楽しめる折り紙で、
どんなダンス作品ができるだろうか？

寄稿
松本武士
ダンスアーティスト

8月5日[火]11:00開演／15:00開演
ダンスアーティスト＝竹内麗奈、松本武士
作曲家・ミュージシャン＝ロバートホワット
会場＝PLAT アートスペース

プラット親子わくわくプログラム2025

『CLUB ORIGAMI(クラブオリガミ)』

折り紙をモチーフにした鑑賞＆参加型パフォーマンス

めてボールのようにして遊ぶ子、ちぎって紙吹雪で遊ぶ子など、一枚の紙から生まれて来た創造性は十人十色。イギリスの子どもたちと紙遊びをするうちに、折るだけではなく、丸めたり、やぶったりと折り紙の定義が壊され、紙の新しい遊び方として作品にも取り入れました。

『CLUB ORIGAMI』の創作にあたって、いかにパフォーマンスをインクルーシブにするかも大切な着目点の一つでした。イギリスでは、障がいや文化や年齢の相違に関係なく、誰もが楽しめるダンスを考え、提供するインクルーシブダンスという分野があります。僕自身もダンスセラピストとして、障がいのある子どもや

大人、若年性認知症の方のためのダンスをさせていた

たき、ダンスがどんな効果をもたらすのか目撃して来ました。その経験は『CLUB ORIGAMI』の創作にも反映されていて、制作過程でどうしたら作品がよりインクルーシブになるのか、子どもたちから学ぶ機会がたくさんありました。特に5歳以下の子どもは、大人とはまた違った観劇の仕方をします。子どもはダンスを見ていて楽しくなるとその場で動きたくりますし、ダンサーの真似っこもしたくなります。そんな子どものニーズに応えるべく、客席の一部を舞台と同じ高さにし、さらに子どもが動ける空間を作るようにしました。一人一席と振り分けるのではなく、座る空間を共有することで、見ている他の子たちともワクワクやドキドキが伝染するようにしました。

『CLUB ORIGAMI』の見どころの一つが、終盤、子どもたちが参加する場面です。ビリビリにやぶった紙で舞台一面が覆われると、そこはまるで「紙の海」のようになります。好奇心がくすぐられ、見ている子どもたちの身体は前のめりになり、「紙の海」の中にいるダンサーと一緒に遊みたい気持ちが膨らんでいきます。そして長い紙をダンサーがぐるぐると身体に巻き付け、紙のモンスターになったり、巨人になったり、想像力を刺激する仕掛けに溢れたシーンになると、子どもたちはいつの間にか舞台に自然と参加して、パフォーマンスと一体化して遊んでくれます。

『CLUB ORIGAMI』は世界17カ国を巡り、色々な文化背景の子どもたちに作品を届けて来ましたが、世界のどこへ行っても遊びは子どもの共通言語なのだ、といつも感じます。子どものための舞台芸術を作るアーティストとして、子どもたちが純粋に笑顔で遊んでいる姿に、僕はいつもインスピレーションを受けています。観劇中には声を出したり、寝をべったりしても大丈夫です。ダンスや舞台の見方に正解、不正解はありません。子どものお行儀が悪いのではない、他に見ている人に迷惑をかけるのではない、そんな公共の場での心配は劇場の外に置いてきて、子どもも大人も一緒に『CLUB ORIGAMI』を楽しんでください。

Column:

松本武士[まつもと・たけし]
イギリス在住のダンスアーティスト、ダンス心理療法師。
トリニティラバンやランベートで講師を務め、親子から大学生、高齢者の方に向けたダンスを教えている。子ども達のための舞台芸術を主に、ダンス作品の出演、製作をロンドンで拠点に世界中で活動中。

桑原——座・高円寺の芸術監督に就任されてもうすぐ2年になりますが、劇団の主宰であり、劇作家・演出家、そして俳優としての活動と比べ、環境や考え方は変わりましたか。

シライ——そもそも演劇を始めた動機は自分の夢の実現でしたが、次第に少し広がって、家族や仲間、劇団のために活動するようになりました。芸術監督になってからは、杉並区民のために何ができるかから考えるようになって、自分がやりたいものかどうかはあまり関係なくなった点が、全く違います。

桑原——座・高円寺が芸術監督を公募するという試みはとても話題になりましたが、なぜ応募しようと思われたのでしょうか。

シライ——2020年、コロナ禍でイベントの自粛要請が出て、僕らも公演の稽古を行ってはいても、上演できるかどうかわからない状況でした。そんな現場の声を朝日新聞の「論座」に書かせてもらったら、文化記事としてはあり得ないぐらい読まれたそうです。

その後、自粛は自分の判断で行うものであって、政府が要請するなら自粛ではなく強制ではないか。要請するのであればその間の保障をと、記者会見したり、ニュースの取材が稽古場に來たこともありました。その活動がだんだんと大きな組織になり、文化庁にも陳情に行きました。

必要に迫られて動いた体験が、図らずも公共的な活動になったというのがとても大きく、好きな人が好きなことを好きな時にできる人がたくさんいて、それを許容する世の中にしないとまずいと思いました。個人の自由な活動を保障するには、国民や国の理解が必要で、それは公共的な活動でしかあり得ないと思っていた時に、この公募を見つけました。

桑原——芸術監督に加えて、日本演出者協会の理事長、日韓演劇交流センターの会長も務めておられますね。

シライ——演出者協会では、副理事長として3年。その前は常務理事も務めました。僕はかねがね、ジェンダーバランスや年齢制限を設けよう、連続任期の当選回数を決めようなど言っていたんですが、全然実現しない。もし僕が理事長になったらそういうのをすべてやりますよ、それでもいいならやりますと言ったら、それを実現しようということになりました。

桑原——ちゃんと意見が言える風通しの良い環境にリフレッシュすることを期待されているのだというのが分かります。

シライ——自分が思っている自分と、他人から見える自分は案外違うのだと、この年になってもいろいろ気付きがあります。最初は理事長なんてどう考えてもふさわしくないと固辞していました。ですが、人に求められなかった時代のつらさや仕事が来なかった時の辛かった思いもまだ残っていて、その反動もあって、來た仕事は断れない。言っていたにいてることはシンプルにうれしく、周りが僕ならできると思っているということで、自分が自分の可能性を閉ざしたら罰があたるかな

Pura pura

バラコ の 寄り道ぷらぷら

劇場のことを知って、好きになって、 広がっていくサイクルを作りたい。

座・高円寺 芸術監督
シライ ケイタ

シライ ケイタ

昭和49(1974)年生まれ。演出家、脚本家、俳優。蜷川幸雄演出『ロミオとジュリエット』のバリス役で俳優デビュー。その後、野田秀樹、木村光一、鐘下辰男など、数々の演出家の舞台に出演。平成22年、劇団温泉ドラゴン旗揚げ公演に自らの初戯曲となる『escape』を提供。以降、同劇団内外で数々の脚本・演出を手掛ける。日本演出者協会理事長、日韓演劇交流センター会長。令和5年7月1日より座・高円寺芸術監督。



穂の国とよはし芸術劇場ROTTA 芸術監督

桑原裕子

シライさんによつて、 どう変わるのか楽しみます。

と思い、お引き受けしました。

桑原——これまでいろんな方にインタビューをさせていただいた中で、劇場にはその人の姿が現れてくる部分があると感じています。親しみやすい劇場だな、とか、アグレッシブな企画だな、とか、芸術監督の雰囲気が出ているほうが面白いと思っています。芸術監督を務めることでご自身の作品の個性に制限が生まれるのではないかと、正しくやろうとすると面白いものがないのではというジレンマや、自分の作品をどう守っていくかというお考えはありますか。

シライ——その葛藤はあまりなかったです。座・高円寺では「劇場へいこう!」という杉並区の小学4年生全員が観に來る企画がありますが、僕自身、4年生が観る



前提の作品を作ったことがない。大人が観ても眉をしかめる作品を作っていたわけですが、相手が子どもになってもそこには差はない。ものを生み出す苦しみはありますが、そういう意味での苦労や葛藤はなく、大丈夫でした。公共劇場に來たから窮屈だとは思わなくて、ギリギリ攻めて議会も納得するようなものは何だろうと考えること、それはそれで楽しいですね。

桑原——芸術監督がシライさんに交代されて、これまでのことから変えてみたいことはおありですか。

シライ——前芸術監督の佐藤信さんは「劇場は広場である」と仰っていました。劇場とは人が垣根なく集まるところで、それは高円寺の商店街や町会をはじめ、高円寺の文化発信に関心のある人たちでできている地域協議会が積極的に関わってくれて、かなり実現されている。これからは、障がいの有無や、ジェンダー、国籍に関係なく広場の多様性を広げ、ここがそういう劇場であることをもっと知らせていきたい。その一つの例で、『夏の夜の夢』で初めて公募のオーディションをしたら、募集期間3週間で400人の申し込みがきました。この人たちが劇場のことを知るきっかけになる。稽古期間中には阿波おどりもあつたし、座の市もあつた。オーディションに受かって、作品に関わってくれた俳優さんたちが劇場を知り、好きになって、話していくサイクルをもっと作れると感じています。

桑原——確かに、便利な場所にあつても劇場に行くきっかけがないと分からないことは多いですね。オーディションがあると、開かれている印象を受けます。

シライ——特殊な事業を行っていて、日本でもかなり特色のある劇場であることを知ってもらうことは、やがてこの国の文化の土壌を耕すことにつながっていくと信じてやっていくしかありません。劇場は単に演劇を上演するだけではなく、劇場がある街は豊かだと外に発信していかないと、杉並区だけで閉じているとなかなかそうならない。

桑原——シライさんの働きかけで、どう今後の座・高円寺が変わってゆくのか、すごく楽しみにしています。ありがとうございました。



小さな王子さま



夏の夜の夢

「劇場へいこう!」
座・高円寺で毎年秋に開催している、中学生以下は無料で観劇

できるプログラム。今年は『小さな王子さま』(8/30～9/18)と『夏の夜の夢』(9/23～10/11)、2つの物語をお届けします。

座の市

毎月第3土曜日に座・高円寺劇場前広場で開催。朝どれ野菜や日本各地のおいしいものを生産者が自ら販売するフードマーケット。

高円寺と阿波おどり

高円寺では1957年より夏に高円寺の商店会主催で高円寺阿波おどりを開催。座・高円寺には、踊り手のチーム“連”が練習するための専用ホールがある。

iaku
『はぐらかしたり、もてなしたり』

8/2【土】14:30 開演
8/3【日】14:30 開演

作・演出＝横山拓也
出演＝瓜生和成、近藤フク、異儀田夏葉、竹田モモコ、
富川一人、井上拓哉、高橋紗良、小林さやか
会場＝PLAT アートスペース
料金＝[全席指定] 一般 4,000 円、U25 2,000 円、
高校生以下 1,000 円
※2 日（土）終演後トークあり



劇団四季ファミリーミュージカル
『王子と少年』

9/23【火・祝】16:00 開演

「トム・ソーヤーの冒険」などで知られるアメリカの文豪マーク・トウェイン
の名作から生まれた、劇団四季のファミリーミュージカル！
会員先行＝7 月 13 日（日）
一般発売＝7 月 19 日（土）
原作＝マーク・トウェイン
台本＝石坂浩二
作曲＝いずみたく、佐橋俊彦
作詞＝石坂浩二、渡辺ゆたか
初演オリジナル演出＝浅利慶太
振付＝加藤敏二
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定] S 席大人 6,000 円、S 席小学生以下 4,000 円、
A 席大人 4,000 円、A 席小学生以下 3,000 円



ピーピング・トム
『トリプティック』

10/11【土】14:00 開演

会員先行＝7 月 19 日（土）
一般発売＝7 月 26 日（土）
構成・演出＝ガブリエラ・カリーソ、フランク・シャルティエ
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定] 一般 6,600 円、ペア 10,000 円、
U25 3,300 円、U25 グループ割（4 人以上）1,500 円、
高校生以下 1,000 円

【関連募集】
現地キャスト(男性)募集

今回で出演いただく【現地キャスト】を一般公募いたします。
世界が注目するカンパニーとともに、PLAT 主ホールの舞台上で、ニュースタイルのダンス作品に出演してみませんか？
対象＝舞台やダンスに興味のある60～70代程度の、舞台上を杖なしで歩行できる健康な方。演劇・ダンス経験不問。劇場が指定する稽古スケジュールに参加可能な方。詳細はホームページをご確認ください。
定員＝1 名
審査＝[一次] 書類、[二次] 面接
申込方法＝9 月 1 日（月）17:00 までに
①参加申込書を窓口・FAX（0532-55-8192）にて提出。
②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

プラット親子わくわくプログラム2025
『CLUB ORIGAMI』

8/5【火】11:00 開演／15:00 開演

ダンスアーティスト＝竹内麗奈、松本武士
作曲家・ミュージシャン＝ロバートワット
会場＝PLAT アートスペース
料金＝[全席自由・日時指定] おとな 1,500 円、
こども（0～18 歳）500 円、U25 700 円



ポータブル字幕機貸出対象公演
聴覚に障がいのあるお客様のためのポータブル字幕機の貸出あり【要事前予約】



舞台説明会対象公演
視覚に障がいのあるお客様のための舞台説明会あり【要事前予約】

シス・カンパニー公演

『ライフ・イン・ザ・シアター』

10/4【土】17:00 開演

10/5【日】13:00 開演／

17:00 開演

10/6【月】13:00 開演

物語の舞台は、まさに“劇場”
ベテラン俳優と若手俳優の二人が過ごす劇場空間のあちこちで、時に滑稽で、時に残酷なほど辛辣に、あらゆる芝居の場面や二人の時の流れが刻まれていく…
会員先行＝7 月 12 日（土）
一般発売＝7 月 19 日（土）
作＝デヴィッド・マメット
翻訳＝小田島恒志
演出＝水田伸生
出演＝堤 真一、中村倫也
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定] S 席 10,000 円、A 席 8,000 円
※発売日初日は、お一人様 1 申込につき 1 公演 4 枚までの枚数制限あり

『ヴォイツェック』

10/31【金】18:00 開演

11/1【土】13:00 開演／18:00 開演

11/2【日】13:00 開演

ジャック・ソーン（ハリーポッター）の翻案で現代に蘇る、19 世紀ゲオルク・ビューヒナーの未完の戯曲「ヴォイツェック」。小川絵梨子の演出で、待望の日本初演！
会員先行＝8 月 23 日（土）
一般発売＝8 月 30 日（土）
原作＝ゲオルク・ビューヒナー
翻案＝ジャック・ソーン
翻訳＝高田曜子
上演台本・演出＝小川絵梨子
出演＝森田 剛、伊原六花、伊勢佳世、浜田信也／中上サツキ、須藤瑞己、石井 舜、片岡蒼哉／富家ノリマサ、栗原英雄
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定] S 席 11,500 円、S 席ペア 22,000 円、A 席 8,000 円 ほか
※発売日初日は、お一人様 1 申込につき 4 枚または S 席ペア 2 組までの枚数制限あり
[共同主催：メ〜テレ、メ〜テレ事業]

【関連イベント】

【共通】
申込方法＝
①劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。
②プラットチケットセンター電話（0532-39-3090）にて申込み。

人形浄瑠璃 文楽（解説・字幕付き）

11/21【金】

昼の部 13:30 開演

夜の部 18:00 開演

会員先行＝8 月 23 日（土）

一般発売＝9 月 6 日（土）

演目＝

【昼の部】

『義経千本桜』道行初音旅、『新版歌祭文』野崎村の段

【夜の部】

『曾根崎心中』生玉社前の段、天満屋の段、天神森の段

出演者＝[太夫] 豊竹若太夫、竹本綴太夫

[三味線] 鶴澤清治（人間国宝）

[人形] 桐竹勘十郎（人間国宝）ほか

会場＝PLAT 主ホール

料金＝[全席指定]

一般 5,500 円、昼・夜通し券 9,000 円 ほか

【関連事業】

文楽プレレクチャー

9 月 21 日【日】13:00

会場＝PLAT 研修室（小）

講師＝田中綾乃（三重大学人文学部准教授）

※料金・申込方法など詳細は 7 月下旬より劇場ホームページにて公開します。

物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、一体の人形を三人で遣う「人形」。これら三業が一体となって表現する古典芸能を、初めての方にもわかりやすい解説と字幕付きで上演します。昼は浄瑠璃三大傑作のひとつ「義経千本桜 道行初音旅」ほかを、夜は近松門左衛門による不朽の名作「曾根崎心中」をご覧ください。また昼夜公演の間には人形遣いによるミニレクチャー（無料）を開催。



野村万作・野村萬斎
狂言公演 2025

10/24【金】14:00 開演／18:30 開演

人間国宝・野村万作と、現代劇や映画でも活躍する野村萬斎、若手狂言師として注目の集まる野村裕基ほか「万作の会」による狂言公演です。



会員先行＝8 月 9 日（土）

一般発売＝8 月 23 日（土）

出演＝野村万作、野村萬斎、野村裕基 ほか万作の会

演目＝「柑子」、狂言による「彦市ばなし」

会場＝PLAT 主ホール

料金＝[全席指定] S 席 6,000 円、A 席 4,000 円

※発売日初日は、お一人様 4 枚までの枚数制限あり

【特別協賛】サラーグループ

立川志の輔独演会 2025

11/12【水】14:00 開演

古典、新作問わず落語に新しい息吹を吹き込む、大人気の立川志の輔による独演会が決定しました。
会員先行＝WEB 抽選のみ。
9 月 3 日（水）10:00～9 月 17 日（水）23:59 まで。
※申込方法詳細はホームページでご確認ください。
一般発売＝10 月 4 日（土）
出演＝立川志の輔
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定]
一般 4,500 円 ほか
※一般発売日初日は、お一人様 2 枚までの枚数制限あり



ミニげきじょうツアー

8 月 5 日【火】①10:00～10:30 ②14:00～14:30

PLAT の一番大きなホール・主ホールを探検しよう！
会場＝PLAT 主ホール
対象＝どなたでも
参加費＝無料

じょこぴ～

こども劇場ダンスワークショップ

8 月 4 日【月】①10:30～11:30 ②13:30～15:00

東京都や豊橋市内小中学校・特別支援学校などへ出向きダンスワークショップの講師を多数つとめているアーティスト・城 俊彦（じょこぴ～）によるワークショップを主ホール舞台上で行います。
講師＝城 俊彦
音楽＝ミウラ 1 号
会場＝PLAT 主ホール
対象＝①年少～年長児 ②小学生
参加費＝500 円

劇場おしごと体験ツアー

8 月 6 日【水】13:00～15:00

劇場のスタッフと一緒に舞台・照明・音響のお仕事を体験しながら、演劇をつくってみよう。
講師＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 技術スタッフ
会場＝PLAT 主ホール
対象＝小学生
参加費＝500 円

One coin concert

ワンコインコンサート

プラット・レジデンス事業
新作共同制作

小尻健太<SandD>
『Engawa, The Self in Season』

SELECT 4



11月29日のみ

11/29 [土] 14:00 開演
11/30 [日] 14:00 開演

プラット・レジデンス事業第2弾として、2022～2023年にダンス・レジデンスで滞在制作を行った小尻健太<SandD>を迎え、PLATともに新作ダンス作品を共同制作します。

季節のうつろいと私たちの暮らしをつなぐ縁側という視点から、環境と共存する身体の在り方を問い直す。小尻健太とドイツを拠点とする建築家ハネス・マイヤーとの協働リサーチから生まれるダンス作品にて期待ください。

会員先行＝9月20日(土)
一般発売＝9月27日(土)
振付演出・コンセプト＝小尻健太
セノグラフィー・コンセプト＝ハネス・マイヤー
出演＝鳴海令那、佐藤琢哉、堀田千晶、畠中真濃、青柳潤、小尻健太
会場＝PLAT アートスペース
料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]
一般 4,000 円ほか



©momoko jaseki

若手音楽家育成事業
FemmeFatale
「諸穂と浮雲」

SELECT 4



12/6 [土] 14:00 開演

2024年度プラットワンコインコンサートで好評を博したFemmeFataleが主ホールに登場。

オリジナル曲とピアノを中心に奏でるアルゼンチンタンゴを両軸に活動する、今、注目必至のインストバンドのステージをお見逃しなく!

発売＝8月19日(火)
出演＝安間誉和 [ピアノ・作曲]、悦木啓人 [ベース・クラリネット・作曲]、鈴木崇朗 [バンドネオン]、長谷川志樹 [ピアノ・メロディオン・シンセサイザー]、山本大地 [ヴァイオリン]
演奏予定曲目＝安間誉和:park-grass、常寂光寺の四季、A・ピアノ:リベルタンゴほか
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定] 一般 2,000 円、U25 1,000 円



若手音楽家育成事業
プラットワンコインコンサート2025

「若い音楽家には活躍の場を、お客様にはより音楽を楽しめる機会を」と企画されたPLATオリジナルのコンサートです。500円で贅沢なひとときをお過ごしください。
会場＝PLAT アートスペース
料金＝[全席自由・整理番号付]500 円

二宮綾音&小田からら
「笛で奏でる夏祭り」 好評発売中

8/20 [水] 18:30 開演

出演＝二宮綾音[フルート]、小田からら[ピアノ]
演奏予定曲目＝リスト:ペトラルカのソネット104番、鹿田 愛:フルートとピアノのための『豊橋讃』～鬼祭り・ええじゃないか・手筒花火～(仮、初演)ほか

二宮綾音



小田からら



二兎社『狩場の悲劇』

12/20 [土] 13:00 開演

12/21 [日] 13:00 開演

永井愛、4年ぶりの新作!
アントン・チェーホフの長編ミステリー小説『狩場の悲劇』をベースに新たな劇世界を創造します。

帝政ロシアの人間社会をレポートしたチェーホフと、人間ドラマを通して日本社会や時代の様相を描いてきた永井の、時間と空間を飛び越えた奇跡のコラボレーション!

会員先行＝9月27日(土)
一般発売＝10月11日(土)
原作＝アントン・チェーホフ
作・演出＝永井 愛
出演＝溝端淳平、門脇 麦、玉置玲央、亀田佳明、大西礼芳、佐藤 誓 ほか
会場＝PLAT 主ホール
料金＝[全席指定]
S 席 7,000 円、
A 席 5,000 円ほか
※20日(土)終演後トークあり



溝端淳平



門脇 麦



玉置玲央

Dance residence

ダンス・レジデンス

ダンス・レジデンス 2025
レジデンスアーティスト決定!

国内外で活躍するアーティストに新しい作品創造のために稽古場と滞在場所を提供し、アーティストへの支援・育成を行うとともに市民とアーティストの交流の機会を設け、舞踊や身体表現を身近に体験していただくプログラムです。滞在期間中には、ワークショップや試演会などを随時企画してまいりますのでご注目ください。

鈴木ユキオプロジェクト

滞在日程＝9月17日(水)～9月25日(木)
滞在内容＝新作『あなたは静かなのが好き』(9月27日(土)・28日(日) PLAT 創造活動室A)の上演に向けたリハーサル
メンバー＝鈴木ユキオ、安次嶺菜緒 ほか



©bozzo

竹内 梓

滞在日程＝10月29日(水)～11月11日(火)
滞在内容＝新作『FURERU/触れる』2026年フランス世界初演に向けた日本在住アーティストとのクリエイション
メンバー＝竹内 梓、マリオン・ブラトゥヴォエ、山口晋似郎、高田政義



ランニングマシン

滞在日程＝2026年1月5日(月)～1月17日(土)
滞在内容＝2022年オーストラリア初演『ランニングマシン』の2026年日本ツアーを視野に入れたリクリエーションと、日本におけるアクセシビリティのリサーチ
メンバー＝益川結子、檜皮一彦、植村 真、サム・マギルupp、ハリソン・ホール、ジェフリー・ワトソン



©Tiffany Garvie

はらだまほ

滞在日程＝2026年2月9日(日)～2月15日(日)
滞在内容＝スペシャルニーズの子どもに向けた舞台芸術作品創作のための身体リサーチ
メンバー＝はらだまほ、甲斐ひろな、鈴木隆司、寺内七瀬 ほか

Work shop

ワークショップ・レクチャー

ワークショップ縁日

8月31日(日)

夏休み最後の週末は、いつもと違う日を劇場で過ごしてみよう!

えんげきとあをぼう

8月30日(土)10:00～15:00

8月31日(日)10:00～12:00

2日間でオリジナルの演劇をつくり、最後に発表します。

講師＝すずきこーた

会場＝PLAT 創造活動室A

対象＝小学生で、2日間とも参加できる人

参加費＝無料

定員＝15人(先着順)

申込方法＝

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出。

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

げきしょうであをぼう

8月31日(日)12:30～15:30(予定)

劇場のいろんな部屋に、身体を使ったゲームや演劇づくりが出来るコーナーを用意しています。

会場＝PLAT 創造活動室Aほか

対象＝小学生以上

参加費＝無料

※申込方法など詳細は8月上旬より劇場ホームページにて公開します

お店をつくろう

小さなまちづくりプロジェクト

8月29日(金)13:00～18:00

8月30日(土)10:00～18:00

8月31日(日)10:00～17:00

アートスペースいっぱいにともたちが考えたまちを展示します。31日(日)15:00～17:00には、表彰式を行います。

会場＝PLATアートスペース

料金＝無料(申込不要)



昨年度の様子



©東間嶺

プラット「えんげき体験ひろば」

8月9日(土)14:00～15:30

身体を使ったゲームなどで演劇を体験できます。

講師＝すずきこーた、柏木 陽

会場＝PLAT 創造活動室A

対象＝小学生

参加費＝無料

定員＝15人(先着順)

申込方法＝

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出。

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

高校生と創る演劇
サマーキャンプ上演会

『はじめてましてからの、今まで』

8月17日(日)15:00 開演

構成・演出＝柏木 陽

演出補＝山本雅幸、高野 菜

出演＝ワークショップに参加した高校生

会場＝PLAT アートスペース

料金＝無料

対象＝小学生以上

申込方法＝7月20日(日)10:00より

①プラットチケットセンター窓口・電話(0532-39-3090)

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

※申込初日は②のみ取り扱い。

桑原裕子
演劇ワークショップ

現代戯曲を「読む力」ワークショップ
～読解とテクニク～

①10月3日(金)18:00～21:00

②10月4日(土)13:00～18:00ほか

10月5日(日)13:00～18:00のいずれか1日

【全2回】

PLAT芸術監督であり、劇作家・演出家・俳優の桑原裕子による演劇ワークショップを開催します。「読む力」を身に着けることで、より深く演劇を楽しめるキッカケとなるような2日間です。

対象＝高校生以上(演劇経験不問)

会場＝PLAT アートスペース

参加費＝一般2,000円、18歳以下1,000円

定員＝20人程度(応募者多数の場合は選考)

申込方法＝8月2日(土)から9月7日(日)までに

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出。

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。



©伊藤華織

Ticket center

チケットセンター

チケットの購入・お問合せ
プラットチケットセンター

●オンライン

https://toyohashi-at.jp[24時間受付・要事前登録]

●電話・窓口

0532-39-3090[休館日を除く10:00～19:00]

発売初日はオンライン・電話のみ取り扱い。
翌日以降、残席がある場合は窓口販売あり。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。

●料金＝U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:1,000円

●購入方法＝各公演の一般発売初日から取扱い。

●その他＝本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。

※一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



プラットフレンズ募集
入会金・年会費無料

●特典

1 公演情報をメールでのご案内します。

2 インターネットでチケット予約ができます。

3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。

※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

18歳以下のお子様を

無料で招待 [座席数限定・事前申込制]

文化庁による子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)として、以下の公演が採択されました。ぜひこの機会をご活用ください。

10/24

野村万作・野村萬斎 狂言公演 2025

対象＝公演当日に18歳以下、小学生以上の方
同伴者申込＝18歳以下の子どもに同伴する保護者等のチケットを対象座席料金の半額でご用意いたします。(先着順・枚数限定)
※詳細は劇場HPにてご確認ください。



みんなで作ることでみんなのものになっていく。 柏木 陽 構成・演出

高校生と作る演劇、と言ったときにイメージすることは何でしょう？オペラや歌舞伎などのようにジャンル名ではなくその企画に参加している主体が誰であるかが問われるような名付けにちょっと怖気づく自分がいます。

実を言えばこの原稿を書いている時にまだ創作は始まっていません。今年は5月に一度プレワークショップを行い8月に6日間のワークショップを行って発表をするという事になっています。皆さんはそんな6日目の参加者たちを目撃することになるわけです。ということで、この原稿の中ではこれからのワークショップの中で私が行おうとしている演劇の作り方の話をさせてもらおうと思います。

募集のチラシなどの中でも「ディバイジング」という言葉を使っていますがこの言葉はあまり馴染みのある言葉ではないと思います。日本語に訳すとしたら「集団創作」が一番実態と合っているのですが集団創作という言葉ではどんな演劇だって集団で創作をしているじゃないかということになってしまいます。

これは元々のところで創作を行う主体は誰だということが問題になっているのだらうと思います。台本は誰が書いているのか？それが創作の主体は誰かということになるのでしょうか。言うまでもなく台本を書いているのは劇作家です。ですが今回のワークショップに劇作家はいません。私は普段の仕事で台本も書きますが今回は私の台本を行うわけではありません。

もう一つ創作の主体として演出家という存在を思い浮かべる人もいるかもしれません。今回演出家はいません。もちろん普段の私は演出という仕事をすることはあります。しかし今回の私は皆さんが想像するような「ああやって、こうやって」と指導をするということもあまりありません。

柏木 陽[かしわぎ・あきら]
演劇百貨店・演劇家。1993年から劇作家・演出家の故・如月小春に師事。2003年、特定非営利法人演劇百貨店設立。他セクターとの協働事業を企画する一方で、ワークショップの進行役として全国各地の劇場・学校などで、子どもたちと独自の演劇空間をつくり出している。世田谷パブリックシアター契約ファシリテーター。都立高校の演劇部の外部指導員でもあり、3年連続全国大会出場へ導く。中学生向けに書いた脚本「シンコペーション」が、「2024ことが上演する劇」で入選を果たす。他にも和光大学や桐朋学園芸術短期大学で非常勤講師を務める。

高校生と創る演劇 サマーキャンプ上演会
『はじめましてからの、
今まで』
8月17日[日]15:00開演
構成・演出＝柏木 陽
演出補＝山本雅幸、高野 栞
出演＝ワークショップに参加した高校生
会場＝PLATアートスペース

たくさんいましたし、その前には劇団黒 TENT のようにたくさん の劇作家演出家俳優スタッフたちが協議しながら創作をしていった例もあります。もっともっと前には江戸時代の脚本は立て作者という中心になる人がいて5～6人のチームで台本を書いていたそうです。黒澤明さんなどの記録を読むと映画のシナリオなどもそんな様子で書かれていたようです。それが常識であった。

世界を見渡してみても1950年代の南米での演劇は集団創作で作られたようですし、東南アジアや他の様々な国の人々も同じです。多分ほとんどの人たちは自然と集団創作の形で演劇づくりをしているのでしょう。誰が書いたセリフでも良いし、自分の出ていない場面でも良いアイディアがあれば遠慮なく使う。みんなで確かめながらみんなで作ることで様々な出来事がみんなの出来事になっていく。誰かの痛みや誰かの苦労、誰かの喜びや誰かの楽しみが創作を通じてみんなの痛み、みんなの苦労、みんなの喜びやみんなの楽しみになっていく。そうやって集団で創作をすることでみんなのものになるのだと思います。一人では背負いきれない記憶も一人で分かち合うことなく終わったかもしれない感情も、みんなのものになっていく。

その最後のピースが観客席に座るみなさんです。みなさんも高校生「と」出会ってもらいたいと思います。みなさんが夢中になったりあきれたり笑ったり悲しんだりすることがこの「高校生と作る演劇」と出会うことになるのだと思います。そうやって自分とは違うことや自分とも共通することなどを見つけ出してほしいと思います。劇場でぜひ高校生「と」演劇を作ってもらいたいと思います。

Sponsor 広告募集

知識製造業
三遠機材株式会社
http://www.san-en.co.jp

YOSHINO ASSOCIATES architects engineers
吉野設計研究所
http://www.440a.co.jp

有限会社 魚伊
電話 52-5256

グロリアンピアノ地域特約店
白羽楽器 株式会社
電話 053-464-3015

ケンチワ 701
KURONO ARCHITECT STUDIO
y.qlo0170@gmail.com

看板広告 アラキスタジオ
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本文具なら
精文館書店
TEL.54-2345

なければつくる
ONOCOM 株式会社 オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
医療法人栄真会 伊藤医院
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間
表巻く宗
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
豊橋調理製菓専門学校
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL53-2809

60th anniversary
DAIHOU

Carbon Offset for 150g-CO2/lay
Waterless Printing. Naturally.
CO2削減に貢献しています！
カーボンオフセット
この印刷物は、環境負荷を減らす「J-クレジット制度」を活用しており、国内のCO2削減事業を支援しています。

豊橋銀行協会 (順不同)
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 三十三銀行
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶席菓子専門店
若松園
御菓子司

気まぐれコンサート
事務局／0532-62-9259(小川)

安心・安全な地下駐車場
パーク500
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
医療法人 塩之谷整形外科
理事長兼院長 塩之谷 香・副院長 栗田和洋
豊橋市植田町関取54 電話0532-25-2115(代)

豊橋名産 命あくわ

井上皮フ科クリニック
診療時間 月・火・木 10:00～13:00 16:00～19:00
土 10:00～14:00 休診日＝水・日・祝
電話0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

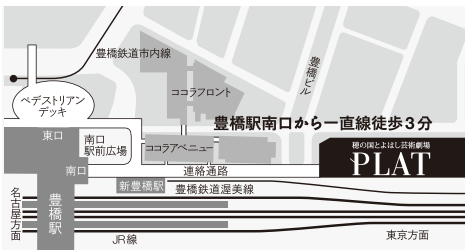
プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
株式会社 三光製作所
三光精密工業株式会社
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala
サーラグループ



Support 特別賛助会員のご紹介

私たちは穂の国とよはし芸術劇場の活動を支援しています。

株式会社アイセロ
旭精機株式会社
株式会社イクモ
税理士法人イグラ会計
イノチオホールディングス株式会社
株式会社エクステージ
大和田和恵
株式会社オリエント楽器
医療法人佳道会 藤城歯科医院
蒲郡信用金庫
川西塗装株式会社
河原崎 妙
株式会社三光製作所
三光精密工業株式会社
サーラエナジー株式会社
株式会社サーラコーポレーション
三遠機材株式会社
株式会社東雲座カンパニー
株式会社シュガーサウンド
大三紙業株式会社
戸田淳子
トヨタネ株式会社
トヨネ株式会社
株式会社豊橋印刷社
豊橋芸術文化事業サポート株式会社
豊橋ケーブルネットワーク株式会社
豊橋信用金庫
豊橋倉庫株式会社
豊橋鉄道株式会社
早川直宏
株式会社平松食品
藤城建設株式会社
学校法人藤ノ花学園
株式会社豊川堂
まちなかビブリオ倶楽部
松井商事株式会社
村田小児歯科センター
物語コーポレーション
有楽製菓株式会社 豊橋夢工場
ゆーもあねっと
若松園
匿名会員3名
(五十音順)

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
電話＝0532-39-8810[代表](9:00～20:00)
開館＝9:00～22:00 休館日＝第三月曜・年末・年始。
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT